



平成24年度 男女共同参画に関する作品 写真部門「双子の赤ちゃん元気に育て」

■もっとやさしく、もっと自由に

香山リカさん(山形市男女共同参画講演会より) ▶ 2—3

■パパも「育休」とれるんです

内藤修広さん ▶ 6—7

■こころを 夢を ギターに託して歌い続けたい

丹波恵子さん ▶ 4—5

■information ▶ P8

平成24年度男女共同参画宣言都市事業

「男女共同参画に関する作品」最優秀賞作品

(入賞者敬称略)

たくさんのご応募
ありがとうございます！
ございました！

中学・高校の部

応募総数1490点

最優秀賞

ただいまー、
今日は何する？
フロ洗う？
我が家の家事は分担制
家族みんなで
早いもの勝ち

太田 湧大(蔵王一中3年)

審査員からのコメント

家族全員が家事を分担することがあたり前になっているように目に浮かびます。生活の主体者は家族全員です。何でも話し合う家族っていいですね。

写真部門

応募総数18点

最優秀賞



双子の赤ちゃん元気に育て

お宮まいりの双子の赤ちゃん。
「これから二人で元気に大きく育てよう」と
祈る笑顔が輝いています。

※こちらの写真は表紙の写真です。

田口 きみ子(緑町)

審査員からのコメント

少子化に頭を抱える時代に、双子の赤ちゃんに恵まれた若いパパとママに心からエールをおくりたいと思います。作者もそんな気持ちでシャッターを押したのではないのでしょうか。今度は正面からしっかりと会話を交わして撮りましょう。

一行詩部門一般の部

応募総数32点

最優秀賞

最近家事メンが増えましたよね
男性の理解というより
気付きはじめたんでしょう
育児も料理も
大変だけじゃない
楽しいことを！
横尾 峰子(寿町)

審査員からのコメント

男女共同参画の理念は、男性にも新しい生き方や楽しみを発見させるものだということを明るい表現で気づかせてくれた作品でした。この作品に触れて、もっと家事や育児に参加してみようと思う男性が増えることを期待しています。



入賞された
みなさん、
おめでとう
ございます！

全ての入賞作品は、山形市ホームページ「なんたっすやまがた」で公開しています。

編集後記



編集協力員 今野 久子 後藤 桂子 松本 千鶴子

「男性の育児休業」について、笑顔で話をされる内藤さんの取材に同席できたこと幸運でした。6年間の取材を振り返っても、男女共同参画のあり方が、確かに変わってきていることを実感しています。誰もがゆとりある社会生活を送れるようになるには、理解と支援と感謝が一体化することなのでは…。(今野)

●「ぶらな」は、ここで配布しています。市役所1階刊行物コーナー・市民課待合フロア・5階男女共同参画課、雁城セントラル内の市の施設、市の公民館、コミュニティーセンター、市立図書館、男女共同参画センター「ファーズ」
●「ぶらな」は、インターネットでも見ることができます。(山形市HPで「ぶらな」で検索してください。)
●「ぶらな」を読んだご感想・ご意見などありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。

